

WEEKLY REPORT

創立 昭和56年3月4日 例会場 名古屋東急ホテル 中区栄4丁目6番8号 TEL(052)252-8658
 例会日 毎週水曜日12:30~13:30 事務局 名古屋市中区栄4丁目6-3岡崎ビル北館2A TEL(052)253-9075
 会長：加島 光 幹事：吉村 知紗 公共イメージ向上委員長：伊藤 晋一 題字：遠藤 友彦



会長テーマ：ロータリーのマジック



クラブテーマ：一步前へ ~仲間と進む~

例会報告

- ◆ 本日の例会 (第2016回) 10 / 23 (水)
 ~職場見学会~
 会場 陸上自衛隊 豊川駐屯地
 時間 名古屋東急ホテル玄関前 8:30 集合
- ◆ 次回の例会 (第2017回) 10 / 30 (水)
 ~2023-24 年度会計報告~
 スピーカー 会計 渡邊 泰彬君
- ◆ 第2015回例会記録 10 / 9 (水) 曇
 司会 加藤 昌之君
 斉唱 RS/四つのテスト
 来訪者 IM実行委員長 佐藤 隆様
 IM実行委員会 事務局長 小野田 誓様
 米山奨学生 姜 菁菁さん

出席報告

会員数	23名	前々回訂正	2013例会
欠席会員数	6名	欠席会員	2名中
出席会員数	17名	MAKE UP	2名
出席率	73.91%	出席率訂正	100%

会長挨拶

会長 加島 光



皆さんこんにちは。ようやく朝晩過ごしやすくなってきましたね。気温の変化、体に気をつけて過ごしましょう。

さて、今週の月曜日、名古屋中ロータリークラブの創立55周年記念式典に、吉村幹事と出席しました。歴代のパストガバナー、東西名古屋分区のガバナー補佐、名古屋市内のロータリークラブの会長幹事など来賓50名以上、名古屋中ロータリークラブメンバー100以上の盛大な式典でした。

ちなみに、今週日曜日に55歳になりますので、名古屋中ロータリークラブと「歴史」としては同じです。

今日は久しぶりに、名北の皆さんだけの集まりですね。ですので、少し柔らかい話題で、先週の旅行についてお話しします。

先週末、愛媛の松山に行ってきました。日弁連民暴委員会の友人が愛媛県弁護士会の会長になったので、その激励にかこつけて、愛媛の美味しいものを食べ、お酒を飲み、ゴルフをしてきた、という訳なのですが、せっかく四国に行くので、ということで、車で行くことにしました。名古屋から新名神を通過して、明石大橋、淡路島を縦断し、鳴門大橋を渡って徳島へ、それから高松道、松山道を通って松山です。休み休み走って6時間弱でした。

帰りは、松山から今治に、そしてしまなみ海道を渡って尾道へ、鞆の浦で一泊し、山陽道、新名神で名古屋に帰ってきました。以前、瀬戸大橋を渡ったことがあるので、三本の本四国連絡橋を全部渡ったこととなります。

明石鳴門ルートは、橋、淡路島、橋。瀬戸大橋はとても長い橋。しまなみ海道は短い橋でいろいろな島を結ぶ道です。三本それぞれ違ってきます。

なかでもしまなみ海道は、瀬戸内の島々を渡っていく道で、いろいろな景色を見ることができ、楽しいドライブとなりました。

米山奨学生

米山奨学生の姜 菁菁さんに10月奨学金を会長からお渡ししていただきました。



Happy Birthday



10月13日 加島 光君
 10月27日 梅村 篤君



米山月間卓話

米山奨学生 姜 菁菁さん



ロータリー奨学生で、名古屋大学修士2年の姜菁菁です。本日は、10月の卓話として、私からお話させていただきます。今日は自己紹介として、自分自身や日本での生活について皆さんとシェアしたいと思います。

私の名前を見て、韓国人か中国人か迷っている方もいらっしゃるかもしれませんが、私は中国人です。

出身は中国東北地方の瀋陽という町です。瀋陽は四季がはっきりしているのが特徴で、夏は短く、冬は長いです。

今の時期、瀋陽では秋が深まり、紅葉や銀杏の黄色がとても美しいです。

瀋陽は餃子と鍋包肉(グオバオロウ)という料理で有名です。餃子には蒸し、茹で、揚げ、焼きなど、さまざまな調理方法があります。鍋包肉は豚肉の天ぷらに甘酸っぱいタレをかけた料理で、甘酸っぱい味が好きな方にはきっと気に入っていただけたと思います。

また、瀋陽故宮(しんようこきゅう)は観光地としても有名です。

これは北京の故宮と同じく、かつての皇帝の居住地でした。今年の9月末から、名古屋から瀋陽への直行便が再開されたので、飛行機で約3時間半で行くことができます。

機会があればぜひ瀋陽に遊びに来てください！

私は日本に来る前、中国の大学で日本語を専攻して勉強していました。最初は、日本語には漢字が多いため、中国人にはきっと学びやすいだろうと思っていました。

確かに、似たような単語がたくさんあります。

例えば、「数学」や「英語」など、漢字はほぼ同じで、意味も全く同じです。

しかし、日本語を学び進めるうちに、実は違うことがたくさんあると気づきました。

例えば、「大丈夫」という言葉です。日本語では「安心できる」や「問題ない」という意味で使いますが、中国語では「立派な男性」という意味になります。

言葉の意味だけでなく、文法も全く違います。

例えば、「ご飯は食べましたか？」という日本語の文章を中国語にすると、「あなたはご飯を食べましたか？」のような

直訳になります。中国語では主語を省略しないことが多く、最初はその違いに苦労しました。

また、「いただく」や「させていただく」という表現は、誰が何をしているのか理解するのが難しく、最初は戸惑いました。言語を習得するには、その言語を使う環境が不可欠です。私はその環境を求め、2021年に大学のプログラムを通じて日本に来ました。

日本に来てからは、実際に日本語を使いながら学ぶことで、言語能力が向上していくのを実感し、日本語の面白さにも気づくようになりました。

その過程で、日本語を使ったコミュニケーションにますます興味を持つようになり、ロータリー米山記念奨学会に応募しました。奨学生としての活動を始めて半年が経ちましたが、この間、奨学会が提供するさまざまな活動に参加し、とても充実した日々を過ごしています。

特に、奨学生交流会に参加して、異なる地域から来た社会人や学生と積極的に交流を深めることで、国際的な視野が広がりました。

また、瀬戸市での陶芸体験を通じて日本の伝統文化にも触れ、その理解を深めることができたのは貴重な経験です。日本での留学を通して得たものは、人と人との交流だけではありません。

私は人間とコンピュータのインタラクションにも興味を持ち、現在、人間の感情を理解し、人間らしい振る舞いのできる対話システムの構築に取り組んでいます。

このシステムは、カメラや生体センサー、視線計測センサーなどを使い、ユーザーの多様な情報を収集し、自然言語を用いて人間とコミュニケーションを行うものです。

研究の一環として、生体センサーから得られた信号を分析したところ、一部の信号がユーザーの感情予測に有効であることがわかりました。

この研究成果は、国内外の学会でそれぞれ2件ずつ発表しました。

今後も修士課程や博士課程で研究をさらに進め、国際会議での発表や国際ジャーナルへの投稿も予定しています。

ニコボックス

佐藤 隆 様 IMのPRに参りました。よろしくお願ひします。
【IM実行委員長佐藤様、事務局長小野田様をお迎へして
います。よろしくお願ひします。】

加島 光君 加藤 昌之君 加藤あつこさん 伊藤 晋一君
足立陽一郎君 杉浦 定文君 中野愛弓さん 渡邊 泰彬君
梅村美知容さん 栗山 直人君 柴山 利彌君 宇都木 寧君
祖父江佳乃さん 吉村知紗さん 近藤 朗君

